Day 1

APIを使ってみよう

ゴール:

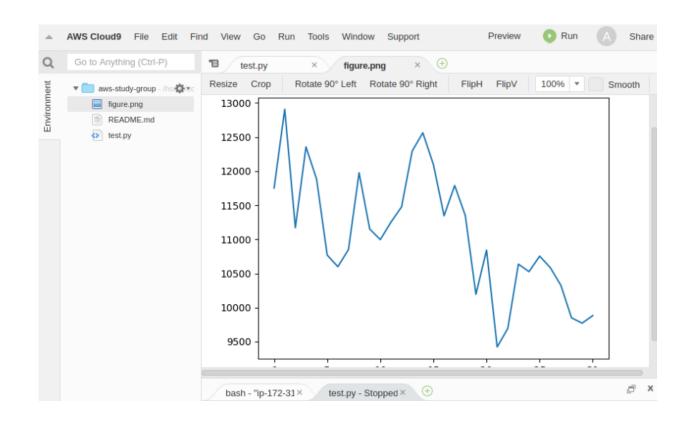
・APIを使うことができるようになる

内容:

- ・Cloud9 を使ってAWS上に開発環境を構築する(20分)
- ・Pythonとは(5分)
- ・Pythonの基本(35分)
- · APIとは(5分)
- ・APIを使ってみる(25分)

今日のゴール

- ・Pythonを使ってBitcoinの価格を取得する
- ・取得した結果から過去1か月間の値動きをグラフにしてみる



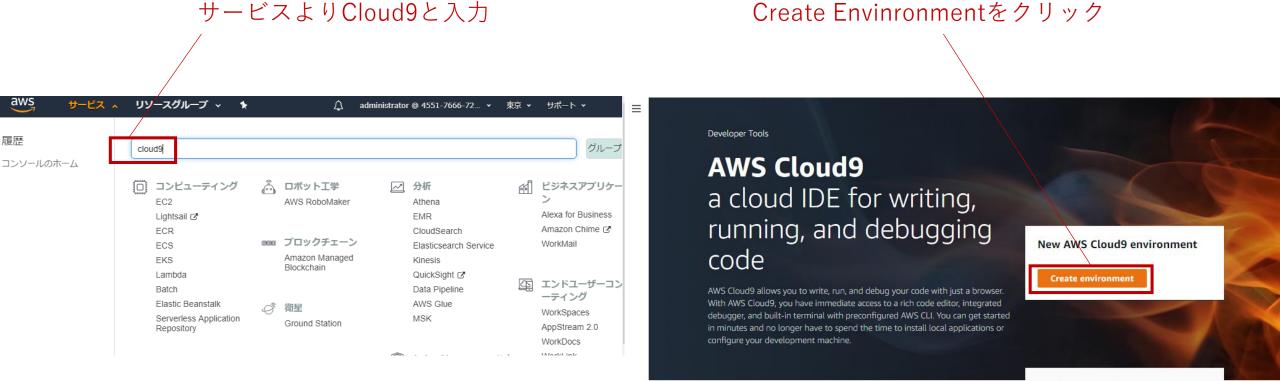
クラウドの主要なサービス



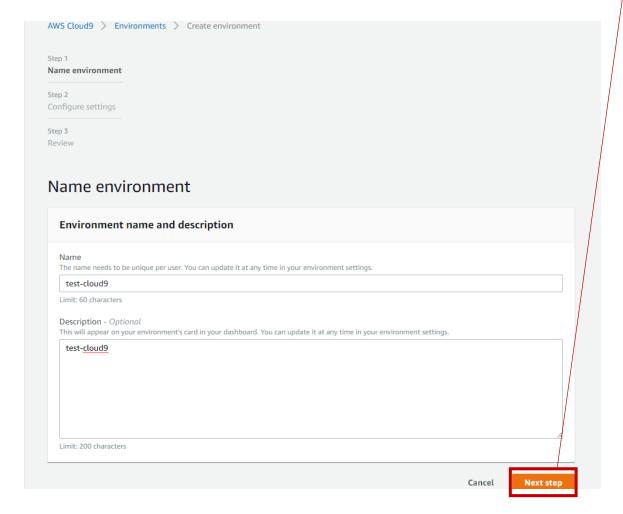


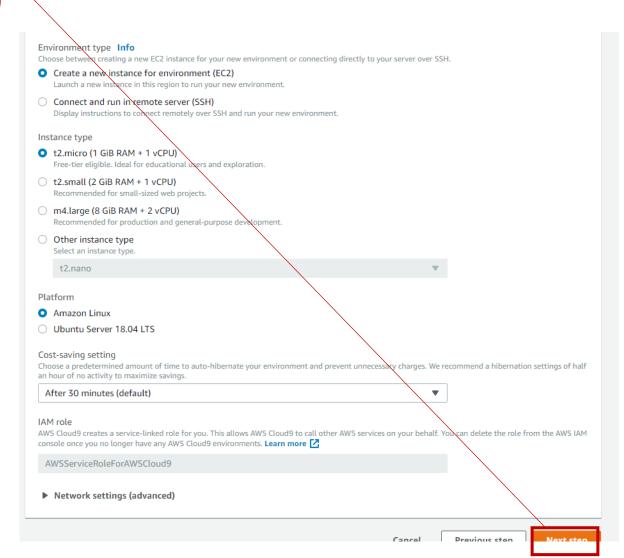


Cloud9 を使ってAWS上に開発環境を構築する

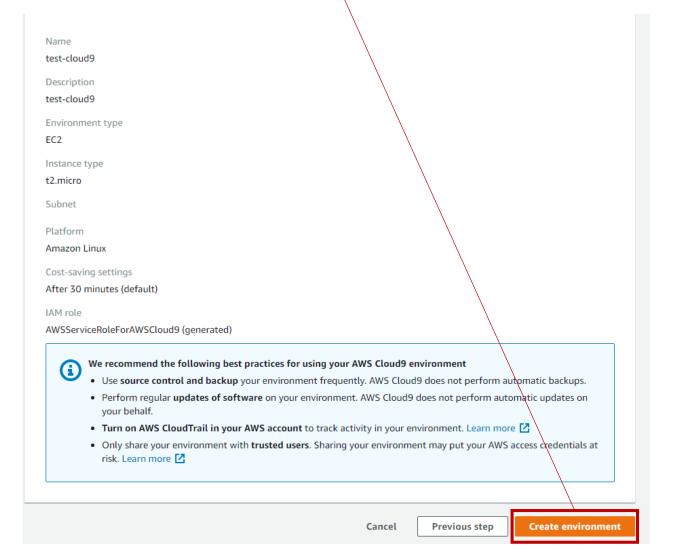


特に設定は変えない

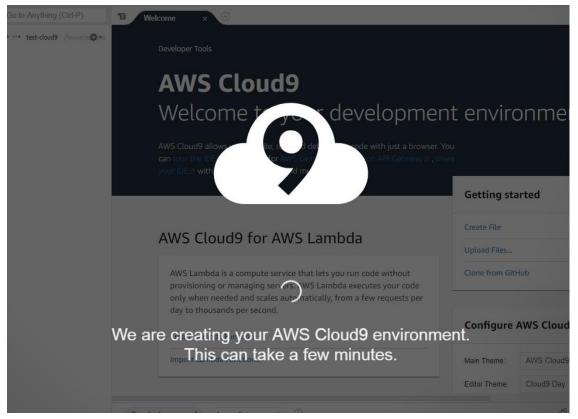




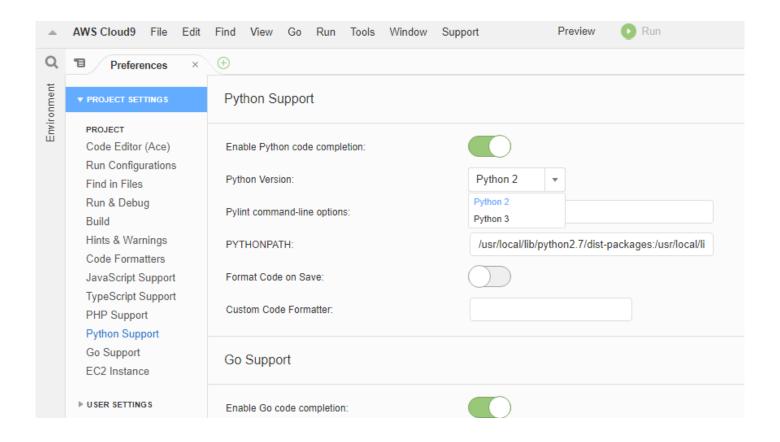
Create Environmentをクリック



開発環境の作成が始まる



[AWS Cloud9] – [Preferences] – [Python Support] の順に選択して、「Python Version」を**Python3**に変更する



Cloud9下の「bash~」と表示されている部分に以下のコマンドを順番に入力してみよう

```
python --version
python3 --version
pip --version
```

```
bash - "ip-172-31 × Immediate × +

administrator: ~/environment $ python --version
Python 2.7.16

administrator: ~/environment $ python3 --version
Python 3.6.8

administrator: ~/environment $ pip --version
pip 9.0.3 from /usr/lib/python2.7/dist-packages (python 2.7)
administrator: ~/environment $ |
```

Cloud9下の「bash~」と表示されている部分に以下のコマンドを順番に入力してみよう

```
vi ~/.bashrc
# ファイル編集後
source ~/.bashrc
```

```
x \ (±)
    vim - "ip-172-31-4 ×
                         Immediate
# .bashrc
                                                                            python27→python36に変更
export PATH=$PATH:$HOME/.local/bin:$HOME/bin
# load nvm
export NVM_DIR="$HOME/.nvm"
[ "$BASH_VERSION" ] && npm() +
    # hack: avoid slow npm sanity check in nvm
   if [ "$*" == "config get prefix" ]; then which node | sed "s/bin\/node//";
    else $(which npm) "$@"; fi
# [ -s "$NVM_DIR/nvm.sh" ] && . "$NVM_DIR/nvm.sh" # This loads nvm
rvm_silence_path_mismatch_check_flag=1 # pp_event rvm complaints that nvm is first in PATH
unset npm # end hack
# User specific aliases and functions
alias python=python27
# modifications needed only in interactive mode
if [ "$PS1" != "" ]; then
    # Set default editor for git
    git config --global core.editor /usr/bin/nano
```

以下のコマンドを入力

sudo update-alternatives --config python

```
administrator:~/environment $
administrator:~/environment $ 1s
README.md
administrator:~/environment $ sudo update-alternatives --config python

There are 2 programs which provide 'python'.

Selection Command

*+ 1 /usr/bin/python2.7
2 /usr/bin/python3.6

Enter to keep the current selection[+], or type selection number: 2
```

以下のコマンドを入力。 最後に最初と同じコマンドを入力してpythonのバージョンを確認

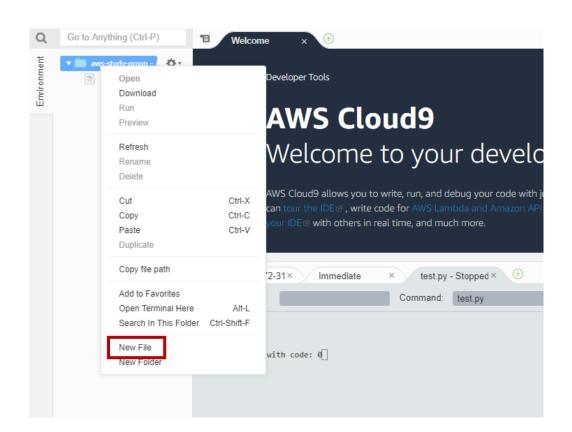
```
sudo pip install –upgrade pip
hash –r
pip install requests --user

python –version
pip --version
```

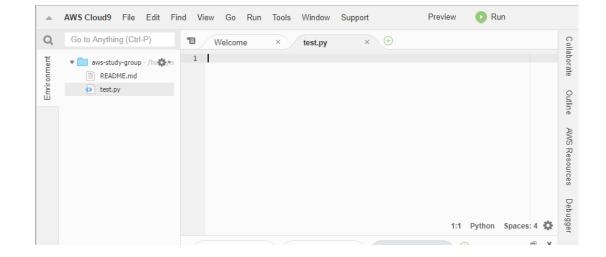
```
administrator:~/environment $ python --version
Python 3.6.8
administrator:~/environment $ pip --version
pip 19.2.1 from /usr/local/lib/python3.6/site-packages/pip (python 3.6)
administrator:~/environment $
```

早速使ってみよう

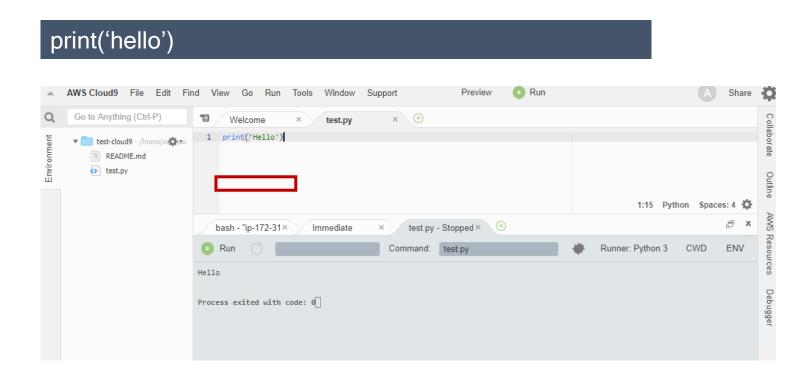
- 右クリック→「New File」を選択してファイルを作成
 - ※ファイルの末尾は必ず「.py」



2.1で作成したファイルをダブルクリックしてファイルを開く



3. コードを入力後、右上の[Run]を押すとPythonのプログラムが実行される



これでPythonを使う準備は完了



- ・近年人気が上昇しているプログラミング言語
- ・ライブラリが豊富で色々なことが簡単にできる
- ・AIの作成においては一番人気の言語

Growth of major programming languages Based on Stack Overflow question views in World Bank high-income countries % of overall question views each month 2014 2016 2012 2018

Who uses Python?

COMPANIES

2797 companies use Python in their tech stacks, including Uber, Spotify, and Instagram.







asana

Asana





Dropbox

Plif

MIT



SendGrid ...







Instacart ..



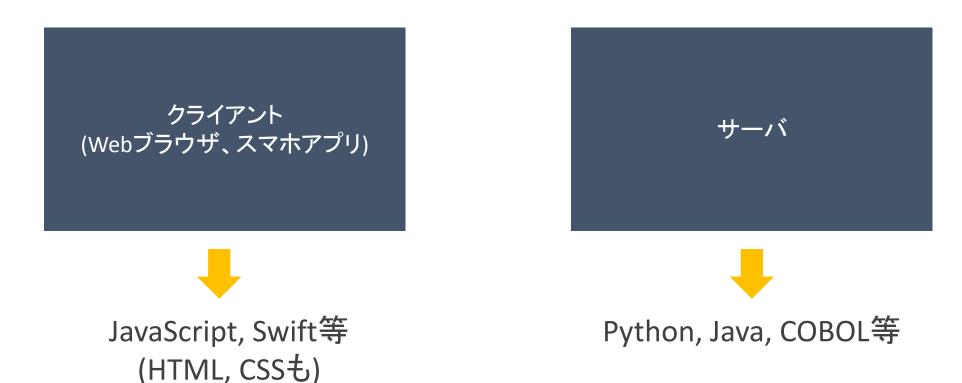






プログラミング言語の種別

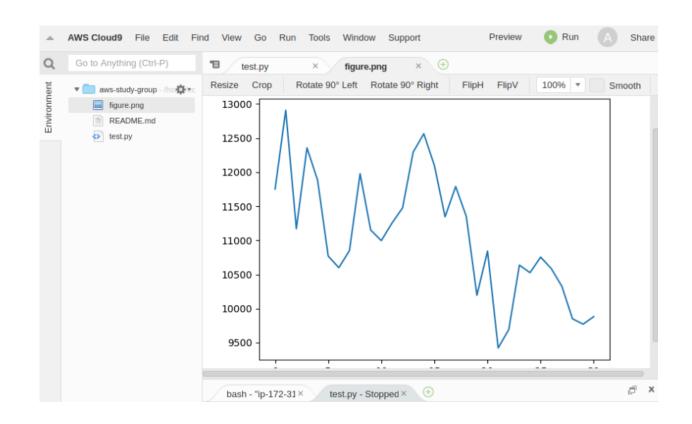
・プログラムが動く場所で以下の2つに大別できる



ゴールの再確認

グラフを作成するには以下の3ステップが必要

- ①APIを呼び出す
- ②①で取得したデータを処理してグラフ描画用の**データを作る**
- ③②で作成したデータを使って**グラフを作る**



①APIを呼び出す

まずはブラウザでAPIを使ってみよう

以下にサンプルとしてすぐに使えるAPIを用意しました

- ・Bitcoinの現在値を取得できるAPI https://www.coindesk.com/api
- ・ランダムで猫の画像のURLを取得できるAPI https://random.cat/view/1039
- ・ランダムで犬の画像のURLを取得できるAPI https://dog.ceo/
- ・架空のユーザの情報(名前、メール、顔写真等)を取得できるAPI https://randomuser.me/

ブラウザでAPIを使ってみよう

Googleを開くときもAPIを呼ぶときもやっていることは全く同じGET Request 違うのはサーバ側で返されるデータの目的

Google.co.jp

Web API

Cat API

形態

Webページ

Request

GET / HTTP/1.1 Host: www.google.co.jp

HTML形式 人が見るためのデータ GET /meow HTTP/1.1

Host:aws.random.cat

Response

JSON形式 機械が処理するためのデータ

APIがあると何がうれしい?



データや機能がほしくなったときにどこからでも使うことができる

PythonでAPIを呼ぶ

以下のコードを実行すればAPIの呼び出しができます。 まずは実行してみましょう。

```
import requests

URL =
'https://api.coindesk.com/v1/bpi/currentprice.json'

response = requests.get(URL)
  print(response.text)
```

①APIを呼び出す

変数と値



- ・URLという変数を定義して、変数にURLの文字列を代入(Assign)している
- ・Pythonでは変数の定義時にデータの型を指定する必要がない
- ・type()でデータの型を調べられる

今日登場するデータの型

具体例

文字列 (str)

name = 'John'

数值 (int)

number = 15

辞書 (dictionary)

data = {'name': 'John'}

リスト (list)

data = [1, 2, 3, 4, 5]

①APIを呼び出す

関数(Function)

```
response = requests.get(URL)
```

- ・requestsというモジュールのget()という関数(Function)を呼び出すことで APIコールを行っている
- ・関数(Function)とは何らかの機能を呼び出せるようにしたもの
- ・関数で重要な点は中身でどんなことをやっているのか知らなくても使えること

関数 (Function)

```
def add(x, y):
   return x + y
a = 5
b = 10
result = add(a, b)
print(result) # 15
```

引数(Argument) 返り値(Return Value) … 関数から反ってくる値

… 関数に渡す値



APIで取得した値の確認

print(response.text)

- ・.textでresponseの文字列(str)にアクセスできる
- ・type()を使ってデータの型を調べてみよう

①APIを呼び出す

演習問題1

Bitcoinの過去1か月間の価格を取得できるAPIを呼んで、 データをCloud9上に表示してみよう。

URLは以下です。

https://api.coindesk.com/v1/bpi/historical/close.json

APIで取得した値の処理

Bitcoinの現在値を取得するAPI(https://api.coindesk.com/v1/bpi/currentprice.json)を例にとって、データにどうアクセスするかを学びます。

USドルの現在価格が欲しい

- ・JSONはPythonの中では単なる文字列(str)として表現される
- ・文字列のままでは必要な情報にアクセスできないので、**変換が必要**
- ・Pythonでは**Dictionary**というデータ型がJSONに対応する

JSONからDictionaryへの変換

文字列(str)をアクセス可能なデータに変換するには、 jsonというライブラリを使います。

import json

data = json.loads(response.text)
type(data)

Dictionaryとは

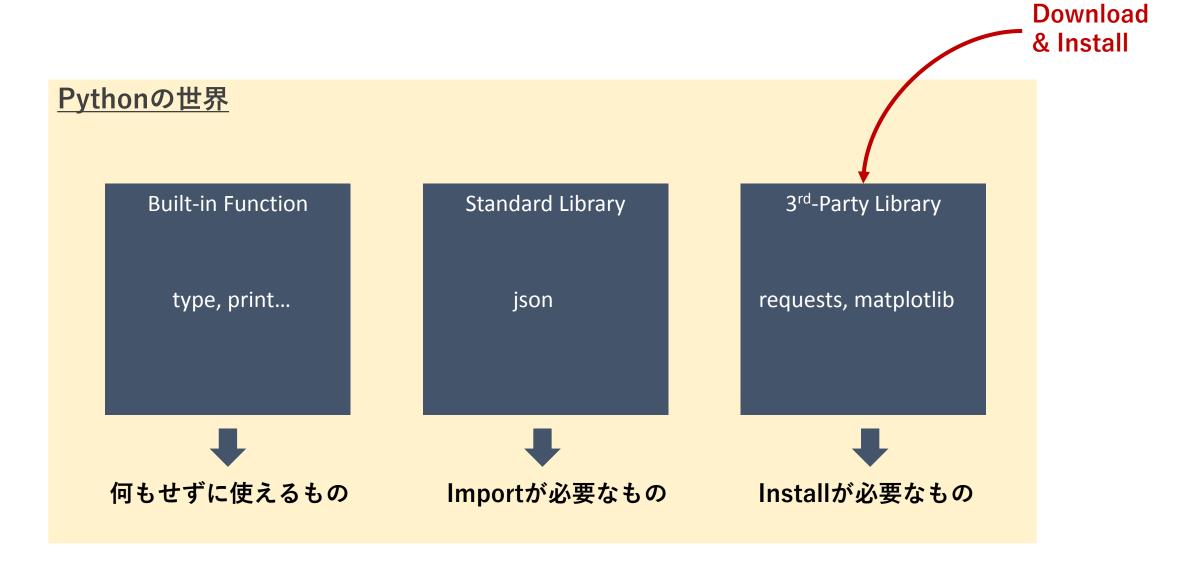
Dictionaryとはキーとバリューでデータを表す形式。 JSONとデータの表し方がほぼ一緒。

```
dictionary = {
    "name": "Sakata",
    "age": 24
}
```

キーを指定することでバリューを取得できる

```
>>> dictionary['name']
Sakata
```

ライブラリ



Listとは

Listとは複数の要素を保存することができるコンテナのようなデータ型。 要素を順番で持つので、時系列データを保存する場合に適している。

```
sample_list = [ 'Sakata', 'Imai']
```

データにアクセスするにはインデックスを使う

```
>>> sample_list[0]
Sakata
>>> sample_list[1]
Imai
```

Listに要素を追加

Listにはappend()というメソッドがあり、 これを使うと指定した要素をListの末尾に追加できます。

```
>>> sample_list = []
>>> sample_list.append(10)
>>> sample_list
[10]
>>> sample_list.append(20)
>>> sample_list
[10, 20]
```

繰り返しの実行

Pythonで繰り返し処理を実行するにはfor文かwhile文のどちらかを使います。

②データの作成

演習問題2

演習問題で取得したAPIの結果から、時系列のBitcoin価格を格納した Listを作成しよう

↓結果のイメージ

[11882.5083, 10769.4217, 10599.3267, 10850.4, 11976.6317, 11151.9183, 10996.4267, 11252.4533, 11476.4083, 12294.6567, 12563.215, 12096.6533, 11345.7717, 11789.3367, 11350.6283, 10194.21, 10842.4517, 9422.4517, 9692.7067, 10636.91, 10526.3917, 10754.29, 10586.2433, 10325.825, 9849.82, 9771.5667, 9882.1, 9844.5583, 9466.2717, 9527.7717, 9501.0317]

グラフ作成用ライブラリの使用

グラフを作成するためのライブラリにはいくつか種類がありますが、 今回は**matplotlib**というものをつかいます。 まずは以下のコマンドをコンソールに入力してライブラリをインストールします。

pip install matplotlib --user

matplotlibの使い方

折れ線グラフであれば以下のコードで簡単に作れる。 ※plt.plot()で折れ線グラフのx軸とy軸の値を指定

```
import matplotlib.pyplot as plt

x = range(5)
y = [10, 20, 50, 30, 20]

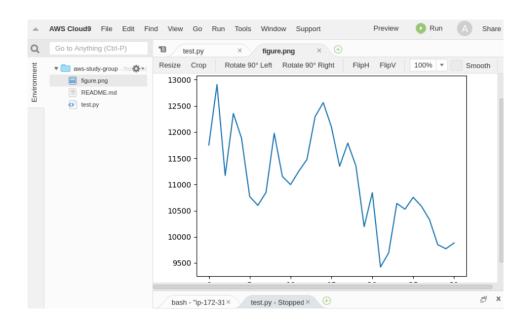
plt.plot(x, y)
plt.save('sample.png')
```

③グラフの作成

演習問題3(最後)

演習問題2で作成したBitcoin価格のListからグラフを作成してみよう

↓結果のイメージ



勉強会のまとめ

- ・APIがどんなもので、どんなメリットがあるか
- ・Pythonという言語の概要や基本的な文法
- ・PythonでAPIを呼んで、データを処理する方法

Pythonの活用例



参考資料

・AWSクラウド活用資料集





Compute

Sevice Name	Published Date	Title			
Amazon EC2	2019/03/05	Amazon EC2	SlideShare	PDF	Youtube
Amazon EC2	2016/04/20	Amazon EC2 - Windows	SlideShare	PDF	
Amazon EC2	2016/11/22	HPC分野でのAWS活用	SlideShare	PDF	
Amazon EC2	2017/11/10	AWSのコスト最適化/リザーブドインスタンス	SlideShare	PDF	
Amazon EC2	2019/03/06	Amazon EC2スポットインスタンス	SlideShare	PDF	Youtube
Amazon EC2 Auto Scaling	2017/03/15	Auto Scaling	SlideShare	PDF	

AWSクラウド活用資料集トップ

https://aws.amazon.com/jp/aws-jp-introduction/

EC2

https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20190305_AWS-Blackbelt-EC2.pdf

Cloud9

https://d1.awsstatic.com/webinars/jp/pdf/services/20180613_AWS-BlackBelt-Introducing-AWS-Cloud9.pdf

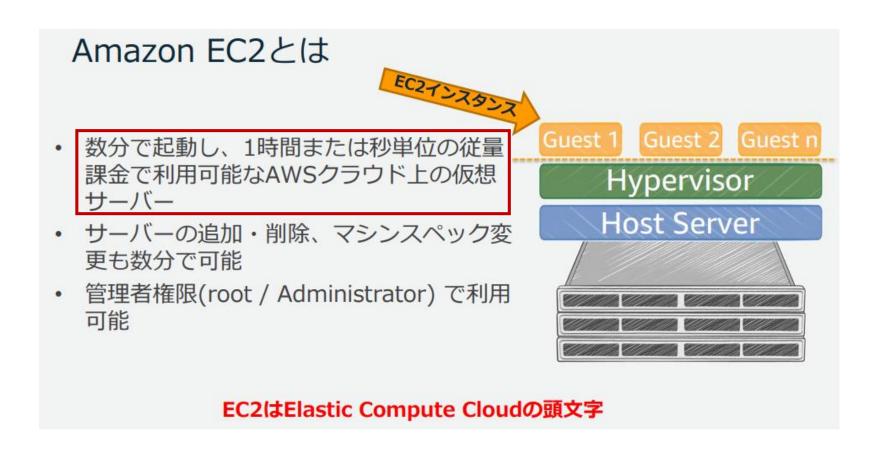
ところで、Cloud9を使うとき何が起きている?

EC2を見てみると

何かができている!



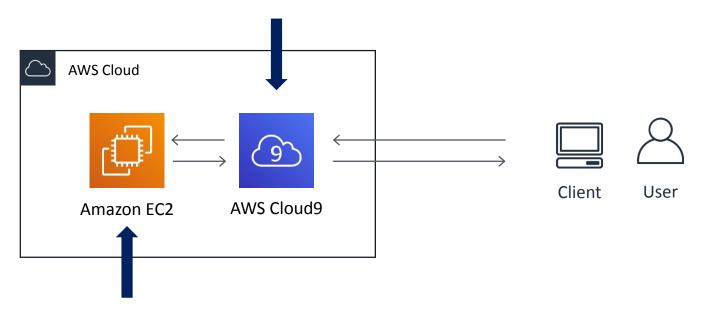
EC2とは



つまり、EC2=AWS上に立てられるサーバ

Cloud9=AWS上のサーバ(EC2)を使って開発環境を作ってくれるツール

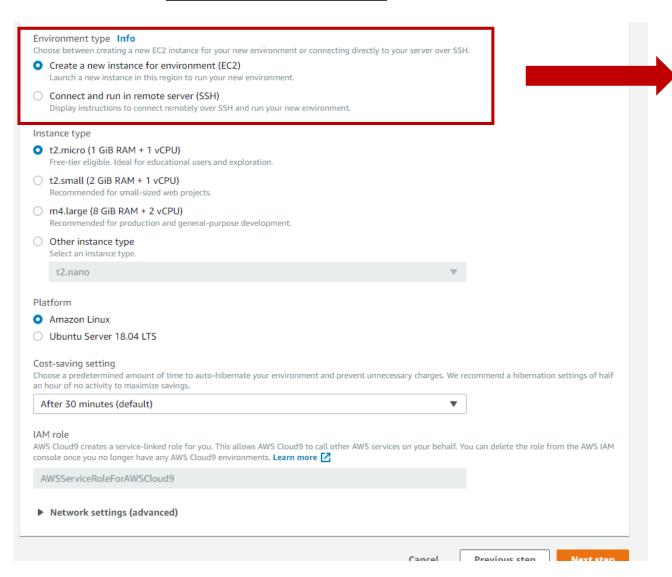
ブラウザでのアクセスを可能にしてくれる



実際のプログラムはここで動いている

実はサーバ(EC2)ができていたのは自分で選択したから

Cloud9作成時の画面



ここで選択していたのは以下の二択

- ・新しくサーバ(EC2)を立てて開発環境にする
- ・既存のサーバを開発環境にする